

練馬区夜間救急 こどもクリニックご案内



場 所
練馬区役所東庁舎2階
練馬区豊玉北6-12-1
☎3994-2238

診療日・受付時間

月曜～金曜(祝休日・年末年始を除く)
午後8時～午後10時30分
日曜・祝休日・土曜・年末年始
午後6時～午後9時30分

※昼間の診療については下記の
休日急诊診療所案内参照

診療科目
小児科 (必ず小児科医師が)
診療します

対 象
15歳以下の子ども

- 入院が必要な場合等は、連携病院に受入れを依頼します。 **予約は不要です。**
- 受診の際は、保険証・乳^子各種医療証及びお薬手帳等をお持ちください。

急病のときのその他の診療所

●練馬休日急诊診療所【内科・小児科】

練馬区豊玉北6-12-1 練馬区役所東庁舎2階 ☎3994-2238

●石神井休日急诊診療所【内科・※小児科】

※主として内科医が小児科を兼務しています。
練馬区石神井町3-30-26 石神井庁舎地下1階 ☎3996-3404

受付	日曜・祝日・年末年始	午前10時～午前11時30分 午後6時～午後9時30分	午後1時～午後4時30分
共通	土曜	午後6時～午後9時30分	

相談窓口

*東京都医療機関案内サービス「ひまわり」

☎5272-0303

*東京消防庁救急相談センター

☎3212-2323

☎ブッシュ回線「#7119」

(24時間対応・年中無休)

*東京都「子供の健康相談室」(小児救急相談)

☎5285-8898

☎ブッシュ回線「#8000」

(平日：午後6時～翌朝8時)
(土・日・祝：午前8時～翌朝8時)

■かかりつけ医の案内など 医療連携・在宅医療サポートセンター ☎3997-0121
(平日：午前9時～午後5時)

こどもクリニック通信NO.4

よう れん きん かん せん しょう

溶連菌感染症って なに?



*お子さんの様子がおかしいときは早めにかかりつけの小児科へ、
また夜間の救急の場合には、「練馬区夜間救急こどもクリニック」へ
(ご案内は裏)

練馬区・練馬区医師会

溶連菌感染症

ってなに?



溶連菌が
のどに感染して
起こります。

特徴

夏期以外で流行があり、発病年齢は5才を中心には4~9才に多い傾向があります。また、家族、集団生活内での流行が多いのが特徴です。



症状

発熱、咽頭痛(ごくんとするとのどが痛い)、リンパ節腫脹(首を触るとぐりぐりがいつもより目立つ)、細かい発疹などが認められるが、ときに腹痛、嘔吐など胃腸炎症状を伴う場合もあります。苺舌(舌が赤くイチゴのようにブツブツしている)ができることもあります。

溶連菌感染症とは…

溶血性連鎖球菌という細菌が原因で起こる病気を総称して「溶連菌感染症」といいます。抗生素質が有効な疾患です。しかしきчинと治療しないとリウマチ熱、急性腎炎、紫斑病などの原因になることがあります。

診断

独特の咽頭発赤のため医師には診断が容易ですが、のどを綿棒でこすり、迅速診断キットを使っての細菌検査が可能なので、10分位で確定診断が出来ます。

治療

治療としては、抗生素質が有効であり、症状は服用1~2日後には改善することがほとんどですが、指示された期間服用しないと除菌ができません。医師の指示に必ず従って下さい。途中でやめると、急性腎炎やリウマチ熱になる確率が高くなります。